

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特別保育拡充事業		
事業担当	健康・こども部 保育課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	健康・安心・福祉力 その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	子育て中の保護者、就学前児童	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 民間保育園】		
目的・目標		事業の概要	
子育てしやすい環境がつけられています。		多様な保育ニーズに応えるため、一時預かり、特定保育、延長保育、休日保育や病後児保育等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	実施保育所			単位	箇所
	説明・算定式	延べ実施保育所数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	57	58	58	58	
	実績	57	58	59		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	利用児童数			単位	人
	説明・算定式	一時・特定・延長・休日・病後児保育を利用している延べ児童数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	100000	100100	100100	100100	
	実績	95985	94280	96293		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
一時保育(17園)、特定保育(7園)、休日保育(1園)、延長保育(33園)、病後児保育(1園)の特別保育を実施したことにより、子育て中の保護者のニーズに応えました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	核家族化の進行、女性の社会進出の増大と就労形態の多様化により、多種多様な保育形態への要請等が高まっており、必要性は高いと思われます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	一時保育、休日保育、延長保育、病後児保育を実施することにより、多様な保育ニーズを満たすことができるため、有効性は高いと思われます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応し、子育て家庭を支えていることから、事業の目的を達成するのに妥当であると考えられます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応するため、保育施設の安全性の確保、保育士の適正配置等を行うことにより効率性を高めていきます。	高中低
今後に向けた課題の分析 子ども・子育て支援新制度の施行により、幼稚園型一時預かり事業が創設されたことから、今後どの程度従来型の幼稚園から施設型給付の幼稚園へ移行していくか注視していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		特別保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の実施
財源内訳	国庫支出金	13,024	0	0	0
	県支出金	87,047	97,757	126,437	90,153
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	76,313	93,531	68,924	50,964
事業費 (A)		176,384	191,288	195,361	141,117
執行率 (%)		100.00	94.66	96.37	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 保護者のニーズを受けて、一時預かり、延長保育、病後児保育、休日保育を実施していきます。
課長コメント 多様な保育ニーズに応えるため、一時保育、特定保育、延長保育、休日保育、病後児保育について、計画どおり実施できました。今後も保護者の多様な保育ニーズに応えられるよう事業を進めていく考えです。